

鎌式デッド警備信号本締錠 Tebra切欠き (CDTSG)

取扱説明書

取付をされる業者の皆様へ

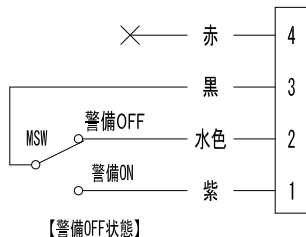
- 本書は、結線工事される方、及び施主様または入居者様向けです。
- 本書は、必ずご入居者様にお渡し下さるようお願いいたします。

1、製品の概要

●本製品は錠前の内部にスイッチが内蔵されており、警備システムと接続して使用することにより警備状態を「起動」「停止」することができます。

2、内部回路及び電気仕様

回路図



電気仕様

マイクロスイッチ	定格電圧：DC24V 定格電流：2mA～100mA
リード線	長さ：250mm (9Pコネクタ付) AWG24 UL1007:耐熱ビニール電線
使用温度範囲	-10℃～+50℃ (結露、氷結しないこと)

3、操作方法

- 施解錠するとき
室外側からはキー、室内側からはサムターンにより通常の錠前と同様の操作で施解錠できます。
- 警備信号をON/OFFするとき
室外側からキー操作にて警備信号をON/OFFできます。詳しい操作方法については、以下の表をご参照下さい。
注) 室内側のサムターンで信号をON/OFFすることはできません。

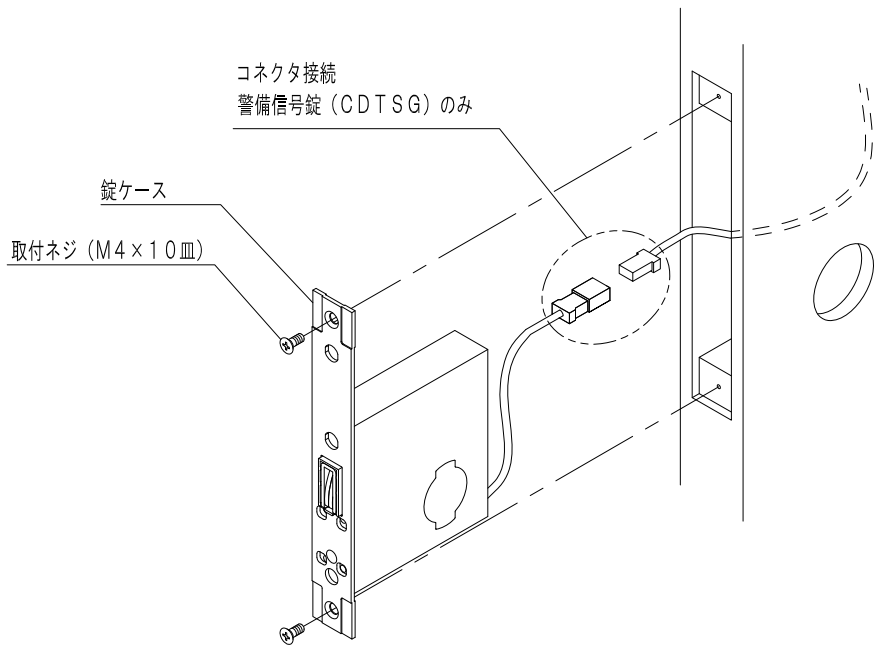
	警備信号を「ON」にするとき	警備信号を「OFF」にするとき
右勝手	<p>1、室外側からキーを挿入し、90°回転させて「施錠」します。</p> <p>2、1の状態から更に約55°回転させると警備信号が「ON」になります</p> <p>3、キーを挿入位置まで回転させて抜いて下さい。</p>	<p>1、室外側からキーを挿入し90°回転させて「解錠」します。 ・警備信号が「ON」の状態で解錠すると信号が「OFF」になります。</p> <p>2、キーを挿入位置まで回転させて抜いて下さい。</p>
左勝手	<p>1、室外側からキーを挿入し、90°回転させて「施錠」します。</p> <p>2、1の状態から更に約55°回転させると警備信号が「ON」になります</p> <p>3、キーを挿入位置まで回転させて抜いて下さい。</p>	<p>1、室外側からキーを挿入し90°回転させて「解錠」します。 ・警備信号が「ON」の状態で解錠すると信号が「OFF」になります。</p> <p>2、キーを挿入位置まで回転させて抜いて下さい。</p>
内部回路	<p>【警備ON状態】</p>	<p>【警備OFF状態】</p>

4、注意事項

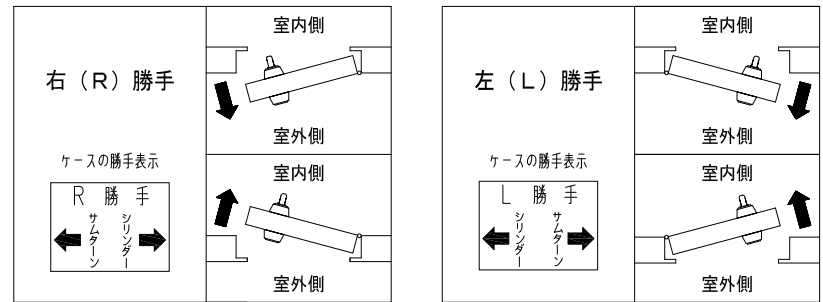
- 本製品は電気による遠隔施解錠操作はできません。
- 製品取付後は必ずキー、サムターンによる施解錠確認及び、テスター等での接点出力確認を行ってください。

1 錠ケースの取付け

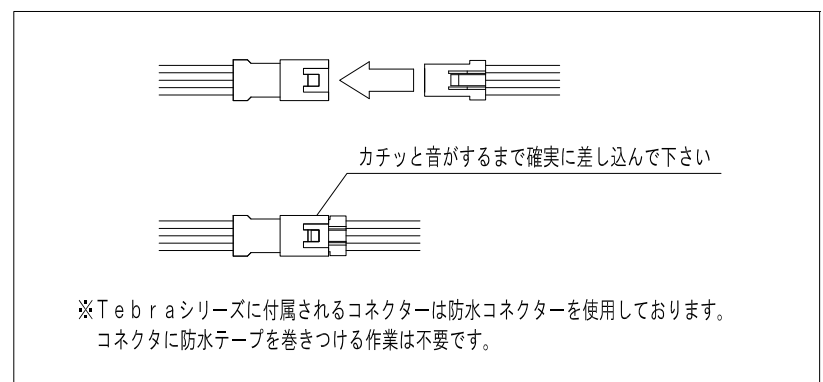
錠ケースを取付ネジで取り付けて下さい。
警備信号本締錠 (CDTSG) の場合は、右記の内容に注意して下さい。



⚠ 警備信号本締錠 (CDTSG) には、左右勝手があります。
取付の際にケースの勝手表示が扉の勝手に合っているか、ご確認ください。

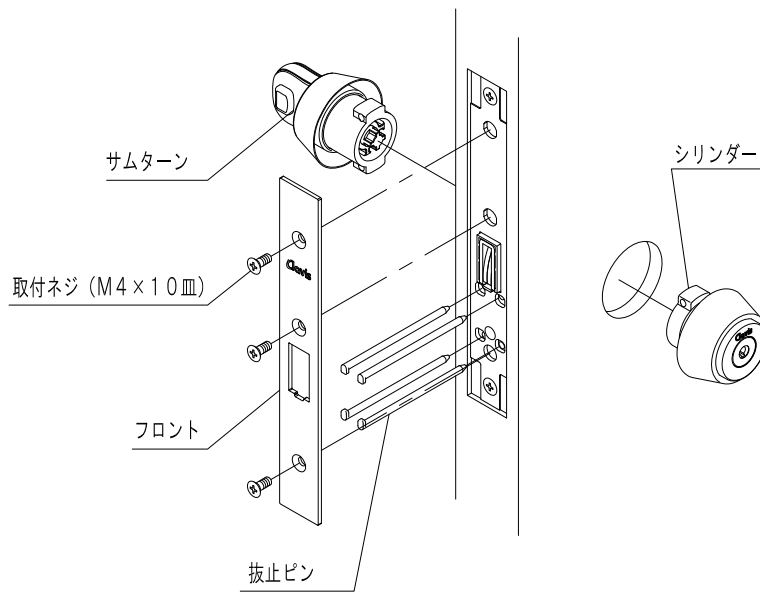


⚠ 警備信号本締錠 (CDTSG) の場合は、
先に、扉の配線と錠ケースのコネクタを接続して下さい。
錠ケースが取り出しできる様に扉の配線は、10cm以上たるませて下さい。
コネクタはカチッと音がするまで確実に差し込んで下さい。

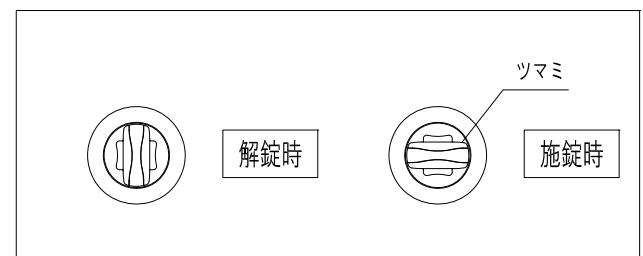


2 シリンダー・サムターンの取付け

「Clavis」刻印が上に見えるようにシリンダー、サムターンを錠ケースに差し込み、それぞれを抜止ピンで固定して下さい。



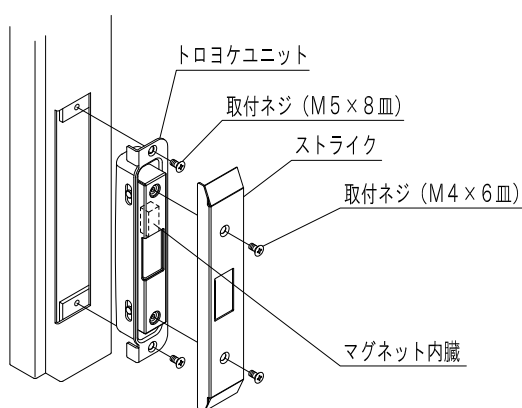
⚠ サムターンは、ツマミが解錠時は「縦」
施錠時は「横」になるよう取り付けてください。



3 ストライクの取付け

【対震ストライクの場合】 : トロヨケユニット、ストライクをそれぞれの取付ネジで取り付けて下さい。
【標準ストライクの場合】 : トロヨケとストライクを取付ネジで取付けて下さい。

【対震ストライクの取付け】



【標準ストライクの取付け】

